

## JSPS Information

- ◇日本惑星科学会第119回運営委員会議事録
- ◇日本惑星科学会第47回総会議事録
- ◇日本惑星科学会第120回運営委員会議事録
- ◇日本惑星科学会賛助会員名簿
- ◇日本惑星科学会主催・共催・協賛・後援の研究会情報

### ◇日本惑星科学会第119回運営委員会議事録

日 時：2017年5月24日(水)18:30 - 21:10

場 所：日本地球惑星科学連合 2017年大会会場  
幕張メッセ国際会議場 202

運営委員：

出席者 20名

荒川 政彦, 倉本 圭, 中本 泰史, 中村 昭子, 渡邊 誠一郎, 千秋 博紀, 和田 浩二, 田近 英一,  
生駒 大洋, 諸田 智克, 林 祥介, 平田 成, はしもと じょーじ, 竹広 真一, 中島 健介, 寺田 直樹,  
佐伯 和人, 中村 智樹, 上野 宗孝, 藪田 ひかる

欠席者 3名

田中 智, 小久保 英一郎, 橘 省吾  
(委任状：議長3通)

オブザーバー：

押野 翔一(連合大会プログラム委員)  
関口 朋彦(2018年秋季講演会組織委員長)

#### 1. 遊星人の発行状況報告

和田編集専門委員長より報告がなされた。

- ・遊星人はつつがなく発行されている。
- ・あかつきの連載記事が、著者校正がなされないまま掲載された。2017年6月号にお詫び記事を掲載予定。今後は、著者校正がなされていない場合、印刷所からの連絡を受けて編集委員会が著者へ連絡し校正をお願いする。
- ・J-Stageでの記事公開。査読があったかどうかの情報を収集しなければならないので、古い記事に関しては公開をペンディングしている。

Q. 学会のウェブでの記事公開は続けるのか？

A. 査読情報がないものについても公開を続ける(学会ウェブでは基本的に全記事公開予定)。

Q. 遊星人が最近薄い？

A. 自然減。記事投稿を。

## 2. 会計第13期下期決算

竹広財務専門委員長より報告がなされた。予算は約60万の赤字だったが、決算は約90万の黒字となった。要因としては、遊星人の印刷製本費が約70万浮いたこと、遊星人の原稿起こし予算10万円が使われなかったこと、秋季講演会でシステム使用料として約34万の収入があったこと、収入が約20万円多かったこと、などが挙げられる。監事より、収支計算に誤りのないことを確認したとの会計監査報告(書面による)がなされた。

Q. 今後も単年度で黒字になれるのか？

A. 決算の振れ幅が大きいのは遊星人なので、そこ次第。

運営委員会は会計第13期下期決算を承認した。

## 3. 会計第14期上期予算執行状況報告

竹広財務専門委員長より報告がなされた。収入支出は例年通り。会員費支払い済498名、未納203名。寄付金10万をいただいた。

Q. 結局、予算は厳しいのか？

A. 遊星人などの振れ幅が大きいので読めない。秋季講演会はプラスマイナスゼロを目指している。

Q. 講演会参加でサーバーを使用するので、サーバー使用料の一部を講演会費から徴収してもいいのでは？参加費は毎年一定にしたほうがいいのではないかな？

A. 検討する。

## 4. 第13期下期活動報告ならびに第14期上期活動計画

諸田総務専門委員長より、第13期の活動報告がなされた。

- ・2016年12月時点での学会員数は、正会員 604, 賛助会員 4, 購読会員・法人 11.
  - ・連合大会の参加者数は7240名、発表者数は4515件.
  - ・秋季講演会の参加者数は171名、発表は口頭 100件, ポスター 50件.
  - ・学会誌 遊星人は4号183ページが発行され、発行部数680部.
  - ・欧文専門誌 EPSはVol. 68が発行。2014年よりオープンアクセスに移行している.
  - ・学会の推薦していた成田憲保会員が、平成29年度文部科学大臣表彰若手科学者賞を受賞した。  
続いて、第14期上期の活動計画が説明された.
  - ・2017年秋季講演会は阪大で行われる.
  - ・惑星科学フロンティアセミナー2017の日程は未定.
  - ・2017年連合大会は5月20日から25日に開催.
- 運営委員より、学会賞募集予定の期日の表記に対して修正提案があった。

## 5. 学会賞選考委員の入れ替え

諸田総務専門委員長より報告と提案がなされた。現委員のうち、中村智樹、大竹真紀子、中本泰史、関口朋彦会員が退任し、門野敏彦、千秋博紀、薮田ひかる、高橋芳幸会員が継続する。寺田健太郎、田中智、阿部新助、玄田英典会員が新委員として提案され、運営委員会はこれを了承した。

## 6. 入退会について

諸田総務専門委員長より報告がなされた。

- ・2017年5月24現在で、正会員 585, 学生会員61(去年はそれぞれ600, 70), 賛助会員 2, 一般購読会員 6, 法人購読会員 6, 名誉法人 6.

- ・ 高校生の正会員入会申請があった。正会員は、基本的には指導教員のついた学部生以上に対して認めており、高校生の前例はない。高校生や、指導教員のない学部生は準会員として認めるか、非会員登録をお願いしてはどうかという提案がなされた。これに対し、一般の人では専門性がなくても受け入れているのに、高校生だからという理由で門前払いというのはどうかという意見があった。一方、会則第5条の正会員条件を高校生が満たすのかとの意見も出された。運営委員会での議論の結果、今後の検討を総務専門委員会で検討することになり、その間は申請は保留とすることとなった。

## 7. その他総務からの案件(議長・書記の承認等)

諸田総務専門委員長より、議長に川村太一会員、書記に兵頭龍樹会員がそれぞれ提案され、運営委員会はこれを了承した。

## 8. 各専門委員会方針(各専門委員長)

千秋将来惑星探査検討グループ長より、以下の方針説明がなされた。

- ・ RFI(Request For Information)の自主改訂について。RFIとは、2014年末に宇宙研より「研究領域の目標・戦略・工程表」の募集があったもので、その提出物が慣例的に「RFI」と呼ばれている。惑星科学会は、2015年に会長名でRFIを提出し、そこからMMX, Destiny+が抽出された。ミッション提案の評価において、「業界からの指示」の傍証として参照されている。SGEPSSでは自主改訂が検討されており、惑星科学会も現状に合わせた見直し・方向整理が必要だろう。ただし方向整理は不連続であるべきでない。方向整理をグループでやるには荷が重いので、グループとしてはまずRFI見直しを提案をする。運営委員会での議論の結果、見直しを学会名で出すべきかどうかは別として、見直しの議論を学会行うことで了承された。
- ・ 荒川会長より、将来探査専門委員会(仮称)の設置検討開始の報告がなされた。これまでは将来惑星探査検討グループ、月惑星探査の来る10年に関する議論をリードしてきた。日本の惑星探査の現状では、学会は定常的に惑星探査に関与することが期待されている。常設の専門委員会で、将来探査の検討に加えて現状への対応が必要である。そこで、将来探査専門委員会(仮称)の設置を提案したい。将来惑星探査検討グループと将来計画専門委員会を中心に議論し、秋の運営委員会での提案に向けて原案を作成する予定。

田近対外協力・連携専門委員長より、科研費審査区分の改定に関して報告がなされた。小区分「宇宙惑星科学関連」が新設され、今後の審査がどのように進むか不透明。SGEPSSと連携してフォローアップを行う。

## 9. 連合大会プログラム委員からの報告

押野連合大会プログラム委員より、来年度惑星科学セッションコンビーナとして岡本尚也会員(正)、黒崎健二会員(副)が選出されたとの報告がなされた。また、来年度連合大会プログラム委員として黒川宏之会員(正)、濱野景子会員(副)が推薦され、運営委員会はこれを了承した。

## 10. 2016年度最優秀研究者賞について

中本学会賞選考委員長より、選考結果について報告がなされた。応募者は6名(前年3名)。選考委員会は書類審査の後に合議を2回行い、秋山永治会員を推薦することに決定した。運営委員会は秋山会員を受賞者として決定した。

## 11. 2017年秋季講演会・学会賞実施案

佐伯2017年秋季講演会組織委員より報告がなされた。一般講演は1講演につき10分前後(質疑含む)を予定。6月21日に参加発表申し込みを締め切り、7月20日に発表申し込みを締め切る。一般講演企画は9月30日。非

発表の学部生・M1の参加費を無料にする代わりに、南部ホールの使用費が無料になった。ただし、講演会終了後には、未発表の学部生・M1の参加者数および本来支払うべき参加費の金額を、阪大に報告しなければならない。

## 12. シニア会員制度について

中村将来計画専門委員長より、検討状況の報告がなされた。シニア会員制度は、経験豊富な会員に退職後に引き続き秋季講演会などを通じて学会活動をしていただくというもの。そのために、身分を継続しやすい会費を設定する。会費案を複数検討している。

## 13. EPS-PEPSの協議について

生駒欧文誌専門委員長より報告がなされた。EPS誌が現在交付を受けている科研費が平成29年度で終了する。今秋の科研費申請では、PEPS誌との共同申請が決定している。現在、EPSを運営する5学会で分担金をどう配分するかが検討されている。なお、EPSはPEPSのレター誌に移行することが検討されている。

## 14. 日本地球惑星科学連合の報告

倉本副会長より報告がなされた。連合の社員(代議員)に団体会員が入る仕組みが廃止される。その代わりに、学協会長会議幹事会が設けられ、学協会長会議と連合理事会との連絡調整が行われる。

## 15. 行事部会からの報告

中島行事部会長から、行事部会とLOCとの間で、口頭発表の時間を確保するためにパラレルセッション化や口頭発表とポスター発表の中間的な発表枠を作ることを含む議論があったことが報告された。運営委員会で議論では、シングルセッションを維持すべきとの意見が多く表明された。

## 16. 2018年秋季講演会について

倉本2018年秋季講演会組織委員より報告がなされた。2018年は旭川で共催する。パラレルセッションは会場的に無理なので行えない。

## 17. 用語研究会の設置要望について

荒川会長より、設置要望があった旨の報告がなされた。前年の用語部会設置要望に対する倉本会長(当時)からの返答に沿った内容の提案でないため、運営委員会は用語研究会の設置を見送ることに決定した。

# ◇日本惑星科学会第47回総会議事録

日 時：2017年5月25日(水)12:30 - 13:30

場 所：日本地球惑星科学連合2016年大会会場 東京ベイ幕張ホール A04  
〒261-0021 千葉県千葉市美浜区ひび野2-3

正 会 員：585

定 足 数：59

参加人数：57名(開会時)(これに加えて非会員の傍聴者0名) > 58名(議事3.1採択時) > 58名(議事3.2採択時)

委 任 状：146通(ただし、内2通分は提出者が総会に参加したため無効)

議 長: 141 通 - 1 通  
 林 会 員: 1 通 - 1 通  
 生 駒 会 員: 1 通  
 佐々木会員: 1 通  
 小 林 会 員: 1 通  
 鈴 木 会 員: 1 通

## 1. 開会宣言

諸田総務専門委員長が開会を宣言。

## 2. 議長団選出

運営委員会からの推薦で議長に川村太一会員，書記に兵頭龍樹会員が選出された。

## 3. 議 事

### 3.1. 第 13 期下期 (2016 年度) 活動報告

#### ・ 基調報告(荒川会長)

2016年度連合大会および惑星科学会秋季講演会の概要報告，学会誌，欧文誌の発行状況報告，2016年度の最優秀研究者賞および最優秀発表者賞の受賞報告，フロンティアセミナーの概要報告がなされた。

#### ・ 会計報告(竹広財務専門委員長)

収支の結果，今年度は黒字であった。その理由は，発行誌の値段が例年より安価で済んだこと，秋季講演会も安価で実行できたことによる等であったことが報告された。

#### ・ 会計監査報告(山岸・門野会計監事(代理：川村議長))

収支決済に誤りの無いことが確認された事が報告された。

#### ・ 各種専門委員会報告

特になし。

#### ・ 2015年度最優秀研究者受賞者発表(中本学会賞選考委員長)

秋山永治会員が受賞されたことが報告された。

#### ・ 質疑応答及び討論

特になし。

#### ・ 採択

第13期下期活動報告の採択が行われ，賛成: 202(うち出席者58)，反対: 0，保留: 0により採択された。

### 3.2. 第14期上期(2017年度)活動方針

#### ・ 基本方針(荒川会長)

運営体制，活動計画，予算，秋季講演会，学会賞に関する活動計画が報告された。また，基本方針として，シニア会員の提案，運営委員会の選出方法，惑星探査専門委員会の設置，EPS欧文誌の位置付け，予算増額の手段，等について検討していくことが説明された。

#### ・ 各種専門委員会活動方針

中村将来計画専門委員長より，シニア会員制度を検討していることが報告された。今後，会費などに関したアンケート調査を行う予定である。

生駒欧文誌専門委員長より，今後のEPS誌とPEPS誌の運営方法についての報告があった。

竹広財務専門委員長より，今年度の会費の早期納入の依頼があった。匿名での寄付金があり，学生発表賞

に当てることが報告された。

- ・ 質疑応答  
特になし。
- ・ 採択

第14期上期活動方針の採択が行われ、賛成: 202(うち出席者58)、反対: 0、保留: 0により採択された。

#### 4. 報告事項

##### 4.1. 2017年秋季講演会について(佐伯, 佐々木2017年秋季講演会組織委員)

会期(09/27-29)、一般講演の内容および講演者、総会・懇親会、会場やその周辺の内容、講演受付日程、予稿集の冊子の発行をしないこと、会費、LOC体制、などについて説明がなされた。

##### 4.2. その他

高橋幸弘会員より、科研費の申請書の書き方および審査の方法が変わることが報告された。

#### 5. 議長団解任

#### 6. 閉会宣言

## ◇日本惑星科学会第120回運営委員会議事録

日 時：2017年6月29日(木)18:00 - 20:00

場 所：TV会議

運営委員：

出席者 18名

荒川 政彦, 倉本 圭, 中本 泰史, 中村 昭子, 渡邊 誠一郎, 千秋 博紀, 和田 浩二, 生駒 大洋,  
諸田 智克, 林 祥介, 平田 成, はしもと じょーじ, 竹広 真一, 中島 健介, 寺田 直樹, 佐伯 和人,  
中村 智樹, 藪田 ひかる

欠席者 5名

田近 英一, 上野 宗孝, 田中 智, 小久保 英一郎, 橘 省吾  
(委任状：議長4通)

資 料：

1. 高校生の入会について20170629.pdf
2. シニア会員制度について2017年6月29日.pdf

議 題：

##### 1. 高校生の入会について(総務専門委員会)

- ・ 資料1にもとづいて、総務専門委員会から対応案の提示があった。・ 高校生の正会員入会を認めるためには指導教員の要件を明確にする必要があるとの意見、正会員の要件(年齢制限など)を明確に定義してはどうかとの意見がだされた。
- ・ 現状では高校生が正会員(一般)を希望したときには認められるルールになっているとの指摘があった。
- ・ 案1の場合、高校生の指導教員は「惑星科学会員」であることを条件にしてはどうかとの意見がだされた。一方で、講演会への参加に関しては、共著者に惑星科学会員がいれば、非会員登録すれば発表できるので



正会員で認める必要性はないとの指摘があった。

- ・案2(準会員の再整理の部分)、案3は検討すべき点はあるが時間がかかる。今回の件に関しては早急に回答する必要があること、会員の整理は長期的課題であることから、問題を切り分けることとなった。
- ・以上の議論から今回の件に関しては、高校生は正会員としての入会は認めないこととし、会員種別の整理については総務専門委員会で引き続き検討することとなった。

## 2. 惑星探査専門委員会の設置について(将来惑星探査検討グループ、将来計画専門委員会)

- ・部会のような時限付きのものではなく、惑星探査に対応する専門委員会が必要であるとの意見が述べられた。
- ・引き続き、将来惑星探査検討グループおよび将来計画専門委員会で活動内容、それぞれの所掌について検討し、それをもとに設置の妥当性を運営委員会で検討することとなった。

## 3. シニア会員制度について(将来計画専門委員会)

- ・資料2にもとづいて、将来計画専門委員会からシニア会員制度についての検討状況の報告があった。退会される方が留まることで財政的負担は増えるので、遊星人の印刷部数や印刷回数、発送回数などを削減する案がだされた。
- ・会費の一括支払いなどを利用することによるコスト削減案、消費税増税時の会費据え置き案、講演会の参加費、懇親会費割引案などが上がった。
- ・会費を下げることでの成立性は難しいように思われ、学会をやめないことのメリットについて考えてはどうか、との意見がだされた。
- ・引き続き、将来計画専門委員会でシニアの方々への意見徴収を踏まえて検討することとなった。

## 4. EPS-PEPSについて(欧文誌専門委員会)

- ・欧文誌専門委員会から状況の報告があった。(経緯は第119回運営委員会議事録を参照)
- ・PEPSと伴にEPSが科研費を申請するにあたって、EPS自身が財政的に自立することが求められているので、EPSを運営する5学会で分担金をどう配分するかが検討されている。
- ・今後の検討の推移を見守ることとした。

## 5. その他事項

- ・学会賞選考委員会より学生発表賞の公募要領が展開されている。確認し、コメントあれば6/30までにすることとなった。
- ・将来惑星探査検討グループでRFI改定を行うための人選をすることになった。JPGU宇宙惑星科学セクションでRFI改定を秋から進める予定であり、それに意見がだせるように連携して進めることとなった。

## 6. 次回

- ・8月下旬～9月でTV会議で実施

## ◇日本惑星科学会賛助会員名簿

2017年9月25日までに、賛助会員として本学会にご協力下さった団体は以下の通りです。社名等を掲載し、敬意と感謝の意を表します。(五十音順)

有限会社テラパブ  
Exelis VIS株式会社

## ◇日本惑星科学会主催・共催・協賛・後援の研究会情報

(a)場所, (b)主催者, (c)ウェブページ/連絡先など.

転記ミス, 原稿作成後に変更等があるかもしれません. 各自でご確認ください.

---

### 2017/09

---

#### 9/27-9/29 日本惑星科学会 秋季講演会

(a)大阪大学 豊中キャンパス, 大阪府豊中市

(b)日本惑星科学会

(c)[https://www.wakusei.jp/meetings/fall\\_meeting/](https://www.wakusei.jp/meetings/fall_meeting/)

---

### 2017/10

---

#### 10/25-10/27 第61回宇宙科学技術連合講演会

(a)朱鷺メッセ, 新潟県新潟市中央区

(b)日本航空宇宙学会

(c)<http://branch.jsass.or.jp/ukaren61/>

---

### 2017/11

---

#### 11/3-11/4 可視化情報全国講演会(室蘭2017)

(a)室蘭工業大学, 北海道室蘭市

(b)可視化情報学会

(c)<http://www3.muroran-it.ac.jp/vsj2017/>

---

#### 11/8-11/10 第58回高圧討論会

(a)名古屋大学, 愛知県名古屋市千種区

(b)日本高圧力学会

(c)<http://www.highpressure.jp/new/58forum/>